

【調査結果の概要】

1 事業所数（従業者4人以上）

- ① 事業所数は5298事業所である。（表-1）
- ② 産業別にみると、「金属製品製造業」が684事業所（構成比12.9%）と最も多く、次いで「窯業・土石製品製造業」が650事業所（同12.3%）、「生産用機械器具製造業」が569事業所（同10.7%）となっている。（表-3、図-1、2）
- ③ 従業者規模別にみると、従業者4～9人区分の事業所が1967事業所（構成比37.1%）と最も多く、次いで「10～19人」が1271事業所（同24.0%）となっており、この2区分で全体の6割を占めている。（表-5）
- ④ 圏域別にみると、岐阜圏域（構成比28.8%）、中濃圏域（同25.5%）、西濃圏域（同20.0%）、東濃圏域（同19.3%）、飛騨圏域（同6.4%）の順であった。（表-7）

※表は別添「統計表」を参照

※産業別の略称については別添「利用上の注意」の14を参照

図-1 主な産業別事業所数（従業者4人以上）

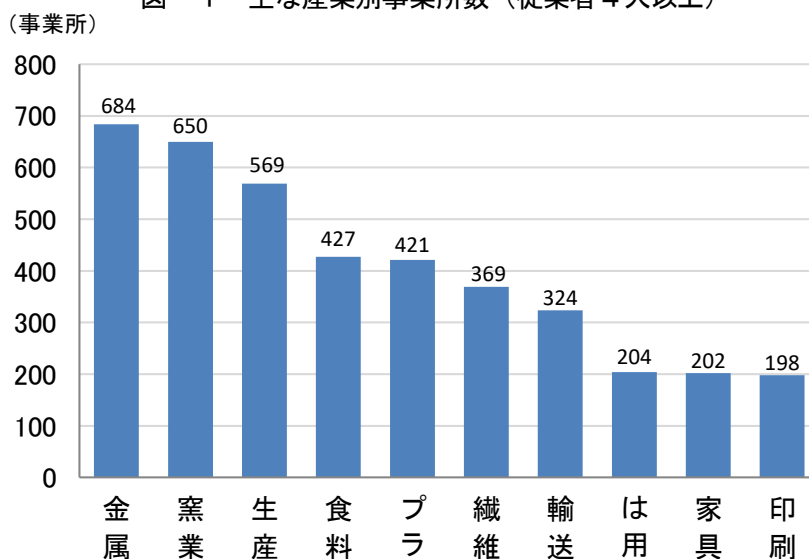
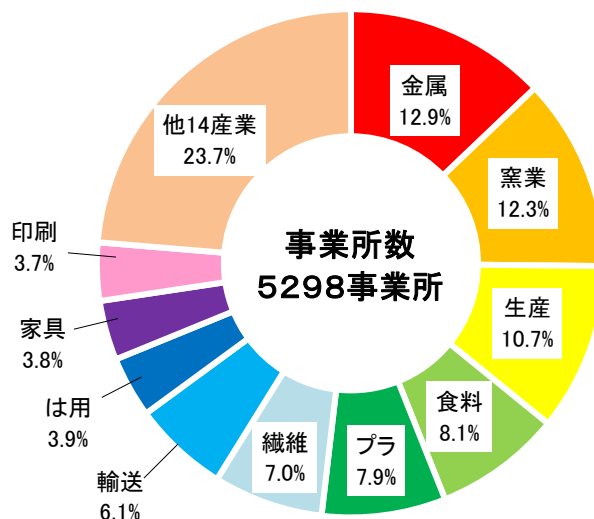


図-2 産業別事業所数の構成（従業者4人以上）



2 従業者数（従業者4人以上）

- ① 従業者数は19万9058人である。（表-1）
- ② 産業別にみると、「輸送用機械器具製造業」が3万3114人（構成比16.6%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が1万8872人（同9.5%）、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が1万8255人（同9.2%）となっている。（表-3、図-3、4）
- ③ 従業者規模別にみると、「30～99人」が5万3975人（構成比27.1%）と最も多く、次いで「100～299人」が5万3909人（同27.1%）となっており、この2区分で全体の5割を占めている。（表-5）
- ④ 圏域別にみると、中濃圏域（構成比28.8%）、岐阜圏域（同25.4%）、西濃圏域（同22.3%）、東濃圏域（同18.2%）、飛騨圏域（同5.2%）の順であった。（表-7）

図-3 主な産業別従業者数（従業者4人以上）

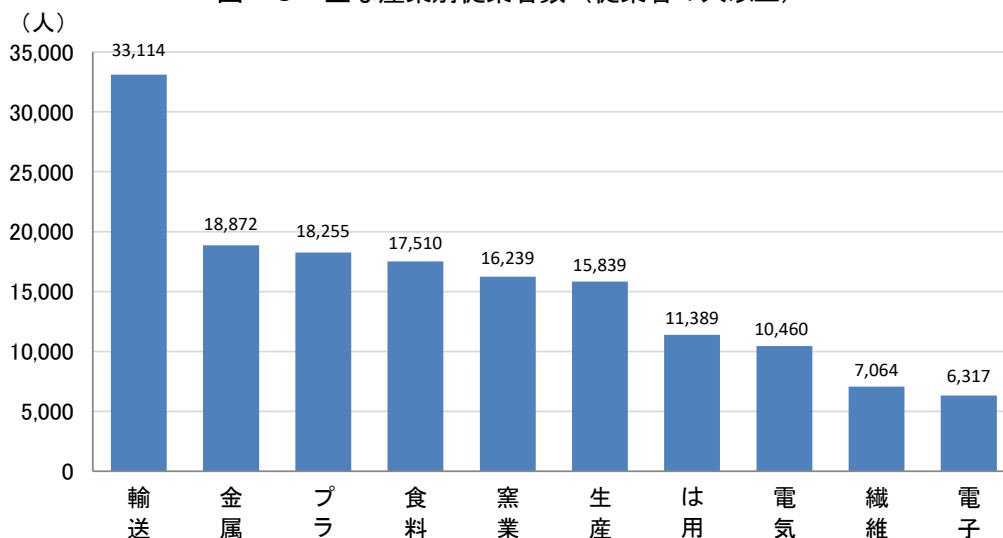
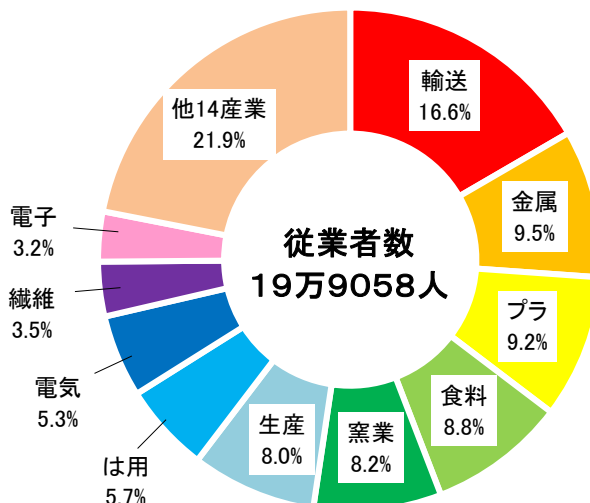


図-4 産業別従業者数の構成（従業者4人以上）



3 製造品出荷額等（従業者4人以上）

- ① 製造品出荷額等は5兆6149億円である。（表-2）
- ② 産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が1兆865億円（構成比19.3%）と最も多く、次いで「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が4814億円（同8.6%）、「金属製品製造業」が4718億円（同8.4%）となっている。（表-4、図-5、6）
- ③ 圏域別にみると、中濃圏域が1兆5688億円（構成比27.9%）、西濃圏域が1兆3827億円（同24.6%）、岐阜圏域が1兆3733億円（同24.5%）、東濃圏域が1兆230億円（同18.2%）、飛騨圏域が2670億円（同4.8%）の順であった。（表-8）

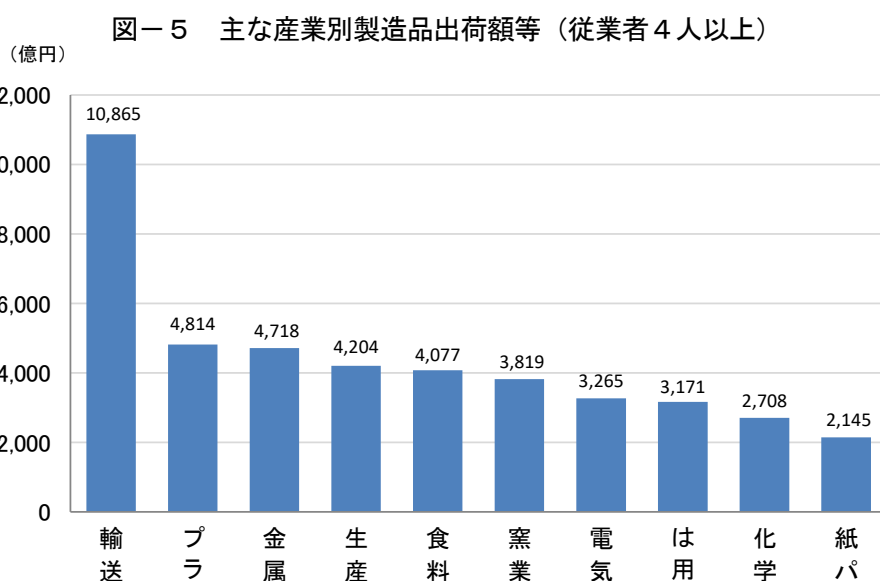
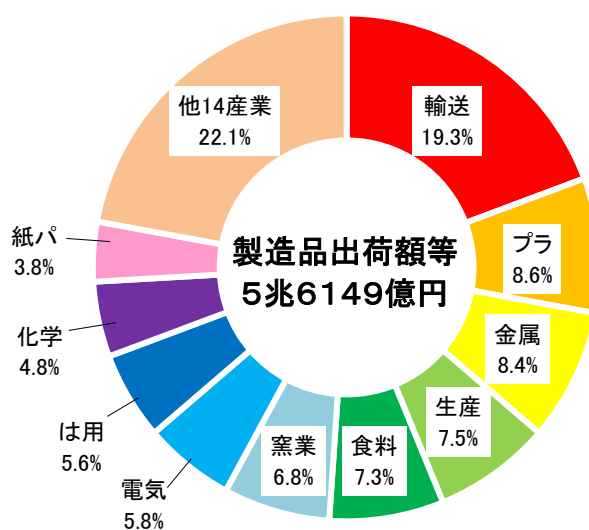


図-6 産業別製造品出荷額等の構成（従業者4人以上）



4 付加価値額（従業員4人以上）

- ① 付加価値額（従業員4～29人の事業所については粗付加価値額）は1兆9601億円である。（表-2）
- ② 産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が2496億円（構成比12.7%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が1949億円（同9.9%）、「窯業・土石製品製造業」が1756億円（同9.0%）となっている。（表-4、図-7、8）
- ③ 圏域別にみると、中濃圏域が5269億円（構成比26.9%）、西濃圏域が5128億円（同26.2%）、岐阜圏域が4490億円（同22.9%）、東濃圏域が3565億円（同18.2%）、飛騨圏域が1149億円（同5.9%）の順であった。（表-8）

図-7 主な産業別付加価値額（従業員4人以上）

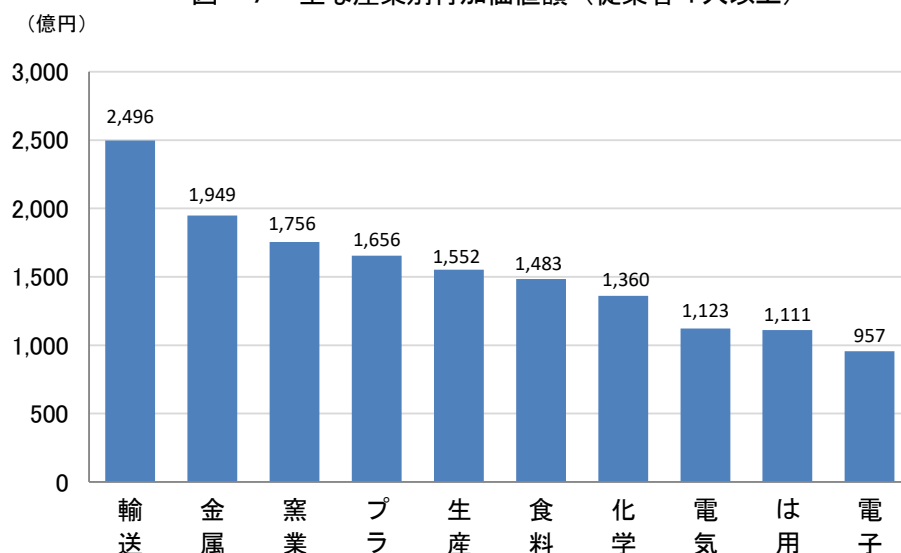
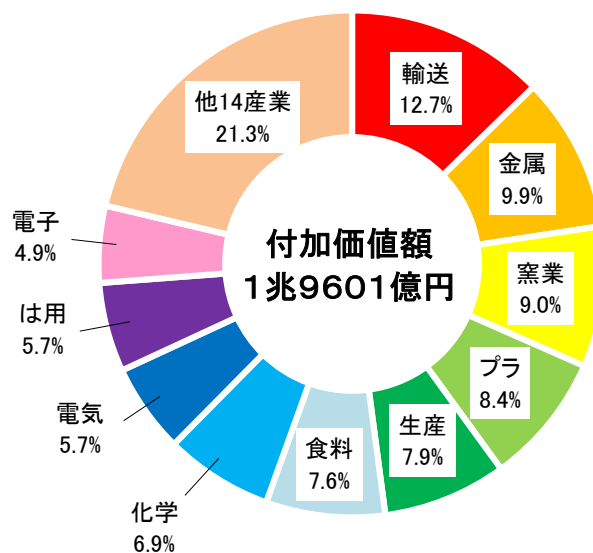


図-8 産業別付加価値額の構成（従業員4人以上）



5 圏域別にみた事業所数、従業者数、産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

【岐阜圏域】

事業所数は1528事業所で、従業者数は5万653人である。

製造品出荷額等は1兆3733億円で、産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が4692億円（構成比34.2%）と最も多く、次いで「食料品製造業」が1282億円（同9.3%）、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が937億円（同6.8%）などとなっている。

【西濃圏域】

事業所数は1057事業所で、従業者数は4万4403人である。

製造品出荷額等は1兆3827億円で、産業別に構成をみると、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が1949億円（構成比14.1%）と最も多く、次いで「電子部品・デバイス・電子回路製造業」が1631億円（同11.8%）、「輸送用機械器具製造業」が1363億円（同9.9%）などとなっている。

【中濃圏域】

事業所数は1351事業所で、従業者数は5万7376人である。

製造品出荷額等は1兆5688億円で、産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が2975億円（構成比19.0%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が2161億円（同13.8%）、「生産用機械器具製造業」が1971億円（同12.6%）などとなっている。

【東濃圏域】

事業所数は1021事業所で、従業者数は3万6221人である。

製造品出荷額等は1兆230億円で、産業別に構成をみると「輸送用機械器具製造業」が1782億円（構成比17.4%）と最も多く、次いで「窯業・土石製品製造業」が1490億円（同14.6%）、「電気機械器具製造業」が1348億円（同13.2%）などとなっている。

【飛騨圏域】

事業所数は341事業所で、従業者数は1万405人である。

製造品出荷額等は2670億円で、産業別に構成をみると、「化学工業」が736億円（構成比27.6%）と最も多く、次いで「非鉄金属製造業」が390億円（同14.6%）、「食料品製造業」が303億円（同11.3%）などとなっている。

（表－7、8、図－9、10）

図－9 圏域別製造品出荷額等（従業者4人以上）

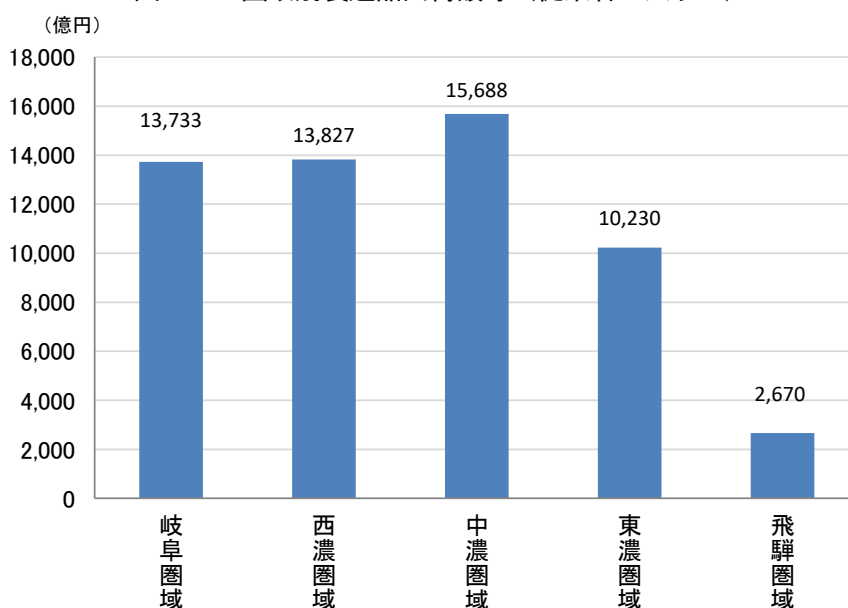


図-10 製造品出荷額等の圏域別産業中分類別構成（従業者4人以上）

